

2022年  
11月1日発行  
読書月間だよ!!



おりひめ号

# 河南図書館大賞 ノミネート作品発表

第5回

みなさん、こんにちは。一年ぶりの河南図書館新聞です。秋も深まり朝夕はめっきり冷え込むようになりました。あたたかくして読書が最高の季節ですね。

それでは、お待ちかね今年で5回目を迎える『河南図書館大賞』を発表します。紀の川市立図書館が所蔵する本の中から「図書館職員が今1番読んでほしい本」をピックアップして、各部門5冊をノミネート作品としました。スタッフおすめ作品を読んで読書の世界に浸り、心に栄養補給をしませんか。

「この一冊は、  
ありがとうございます」

2022 読書週間標語

## 小説部門

- ◆ 仮面の復讐者
- ◆ 桜のような僕の恋人
- ◆ スモールワールドズ
- ◆ つまらない住宅地のすべての家
- ◆ 夢をかなえるゾウ 4

## 児童書部門

- ◆ おねえちゃんつて、もうたいへん!
- ◆ こどりのメルおっこちる
- ◆ タヌキとキツネ 冬のおはなし
- ◆ 大ピンチぞかん
- ◆ パンドロぼうVS にせパンドロぼう

## YA部門

- ◆ 1%の努力
- ◆ 劇場版 呪術廻戦0
- ◆ サードプレイス
- ◆ SPYxFAMILY
- ◆ 転生したらスライムだった件

## その他部門

- ◆ 大人も知らない? ふしぎ現象事典
- ◆ 風と共にゆとりぬ
- ◆ サバ缶パワーアップレシピ
- ◆ そっか、日本と韓国って
- ◆ デイズニーキャスト
- ◆ 夢をかなえるゾウ 4
- ◆ 夢をかなえるゾウ 4

## おりひめのブックトーク

今年、「平和」について考える機会の多い年だったでしょう。「戦争」「命」「平和」どれも聞き慣れた言葉ですが、改めて考えさせられるときは、悲しいときが多いような気がしますね。

インド初の女性首相であったインディラ・ガンディーは敵対する相手国に対して「握り拳と握手はできない。」と言ったそうです。そして、インドとパキスタンの間で戦争が始まります。また、その後、彼女は宗教的に対立していた勢力に暗殺されてしまいます。

宗教についても大きな事件がありました。街頭演説をしていた安倍元総理が銃弾に倒れます。この事件の背景には宗教があると言われていていますね。

『教団X』（中村文則、集英社）では、絶対的な悪の教祖とそれを囲む男女を描いています。カルト

## 道

長い人生にはなあ  
どんなに避けようとしても  
どうしても通らなければ  
ならぬ道

そんなときはその道を  
だまって歩くことだな  
愚痴や弱音は吐かないでな  
黙って歩くんだよ  
ただ黙って

涙なんか見せちゃダメだぜ  
そしてなあその時なんだよ  
人間としてのいのちの  
根がふかくなるのは

みつを

教団の暴走が、やがて国の根幹を揺るがす事態へと発展し…。宗教とは、神とは、を考える1冊です。

『星の子』（今村夏子、朝日新聞出版）は、子供の病気を治したい一心で宗教にはまり込む家族が描かれています。お母さんとお父さんはあやしい宗教にのめり込み、お姉ちゃんは家出しました。親戚からは仲間外れにされ、住む家もどんどん小さくなっていきました。信じるものは救われるのか…。

今年8月に死去したソ連の政治家ゴルバチョフ氏は、平和について、「相手に平和を与える人は、自分も平和を得ることになります。」と言っています。相手がいて、自分がいて、ひとりだけではないということですね。

谷川俊太郎の絵本『へいわとせんそう』（ブロンズ新社）では、「へいわ」の世界と「せんそう」の世界が対称的に描かれています。「へいわのボク」は笑顔、「せんそうのボク」は泣き顔、なんとなく想像できますよね。では、「てきのかお」はどうですか。「みかたのかお」は「てきのあかちゃん」と「みかたのあかちゃん」に違いはありますか？絵本の中で確かめてみてください。

最後に、自らを「平和主義者」と呼んだ映画俳優の言葉を紹介して終わります。

下を向いていたら、虹を見つけることは出来ないよ。

チャールズ・チャップリン

おりひめのつづき

覚え間違いというか、いわゆる「思い込み」というか、最近とても多い気がします。

一番よくないのが、その間違えて思い込んでしまったことを、さも正解のように人に教えてしまうことです。もちろん、自分では正解と思いつているので、間違えていることには気づきません。

しかし、何かの拍子に誤りが発覚します。ありがたいことに大体が発覚して、間違っていたことに気づきます。青くなります。ほんとは、周りの人たちごめんさい。

これを何度も繰り返して、学びました。うわやっちゃまった！の感情が大きいほど、間違った「思い込み」については正しく覚え直すというのを、失敗したときこそ、チャンスであるということを、という、前向きに捉えようとする図々しさも。あとは、慎重に確実に物事を進めること！と戒めるのですが、これがなかなか難しく。そういうときは、松下幸之助の名言「こけたらおきなはれ」で自分を励まします。

ヒトは、本を読まねば

ウツである

『毎日読みたい 365 日の広告コピー』より

# POP

よんでみて  
ください

# つくってみました!



## 小説部門



『仮面の復讐者』  
小島正樹



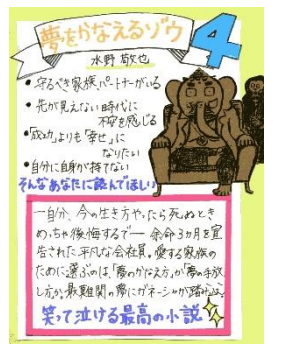
『桜のような僕の恋人』  
宇山佳佑



『スモールワールズ』  
一穂三チ



『つまらない住宅地の  
すべての家』  
津村記久子



『夢をかなえるゾウ4』  
水野敬也

## 児童書部門



『おねえちゃんって、もうたいへん!』  
いとうみく



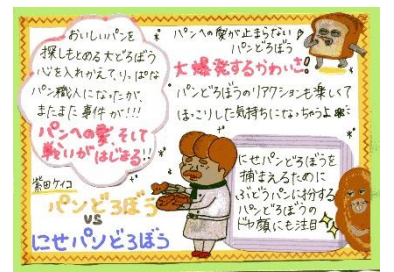
『ことりのメルおっこちる』  
コーリー・R.テイバー



『タヌキとキツネ  
冬のおはなし』  
アタモト



『大ピンチずかん』  
鈴木のりたけ



『パンどろぼうvs  
にせパンどろぼう』  
柴田ケイコ

## YA 部門



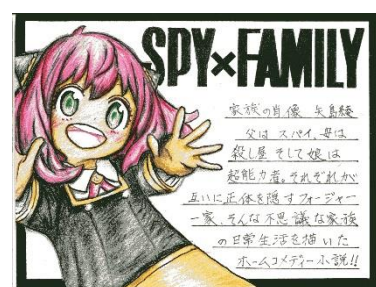
『1%の努力』  
ひろゆき



『劇場版呪術廻戦0』  
芥見下々/原作 くまатарう/著



『サードプレイス』  
ささきあり



『SPY×FAMILY  
家族の肖像』  
遠藤達哉/原作 矢島綾/小説

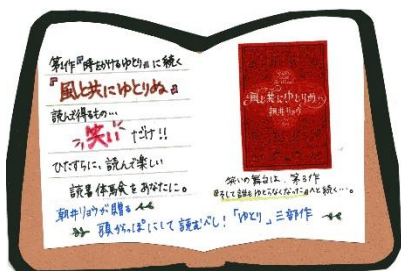


『転生したらスライムだった件』  
伏瀬

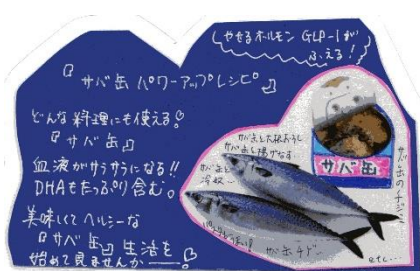
## その他部門



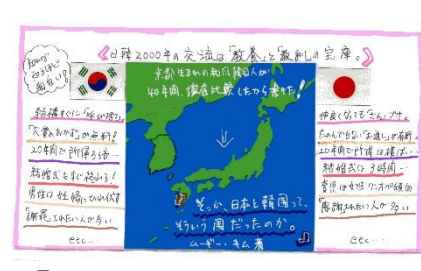
『大人も知らない?  
ふしぎ現象事典』



『風と共にゆとりぬ』  
朝井リョウ



『サバ缶パワーアップレシピ』



『そっか、日本と韓国って  
そういう国だったのか』  
ムギー・キム



『ディズニーキャスト  
ざわざわ日記』  
笠原一郎